

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

目次

【令和7年（2025年）8月3日（オンライン）開催分】 参加者 51名	1
【令和7年（2025年）8月17日（きらら深沢）開催分】 …順次追加予定	5
【令和7年（2025年）8月21日（オンライン）開催分】 …順次追加予定	5
【令和7年（2025年）8月23日（鎌倉商工会議所）開催分】 …順次追加予定	5

【令和7年（2025年）8月3日（オンライン）開催分】 参加者 51名

No.	質問	回答内容
1	<p>新案に対しても反対する議員の主な反対意見に関し、その反対内容と、対する回答を教えてください。</p>	<p>先日（7月23日）市議会全員協議会では、大きく言うと、市役所を一つに集約する必要がない、新しく大きな市役所を作る必要がなく今後分散していくという考えに基づいたご意見があったと記憶しています。（このほか市議会全員協議会においては、政策決定のプロセスが透明化されていない、市が示したスケジュールでは市民の意見をまとめる時間が足りない、計画をリセットしてはどうか、庁舎を分けることの必要性がわからないなどのご意見がありました。）</p> <p>新しく大きな市役所に多額な費用をかけて作る必要がないという点について、今後市役所自体は、オンライン化により市役所に来る必要なく手続をできる、ということがもうすぐそこまで来ていると考えています。それにより、当然職員の働き方も変わってきます。今回、深沢の新庁舎で多くの職員が仕事を予定ですが、当初のまま50年、100年ずっと変わらないということではありません。今後20年、30年という中で職員の働き方も変わり、仕事の中身について見直しをして、例えば職員の執務室が減り、その分市民の皆さんのスペースが増えるということもできるということを前提に考えています。市役所（職員の執務室）が市内各地に分散して、仕事をするということは現実的ではないと考えています。</p>
2	<p>この方針転換は暫定的なものなのでしょうか？最終的に全面移転を目指すお考えはないのでしょうか</p>	<p>最終的に全面移転するという前提で今回方針変更しているわけではありません。あくまでも、本庁舎はこの鎌倉の地域でその役割を担っていき、そして、深沢の新庁舎については、先ほど申し上げた多くの職員が働きます。それ以外にも、それぞれに図書館ですとか市民活動のベースとかを設け、全て市民の皆さんにこう解放していくという形になっていきます。市役所は、今までは単なる事務所というイメージだったと思うのですが、市民の皆さんが、毎日たくさん集まってくるような場所となるよう、鎌倉の本庁舎と深沢の新庁舎の両輪で進めていきたいと考えています。</p>
3	<p>1. 分散化することにより、移転もしくは移転せずに現在位置のままよりも無駄なコストは発生しないでしょうか。</p> <p>例えば、職員内での移動・公用車の利用や現在地の建て替えの時に係る仮の市役所のコストなど想像ができます。</p> <p>他自治体で無駄なコストが発生しているケースをいくつか拝見しておりますが、現時点でどれくらいコストが膨れ上がるか試算できておりますでしょうか。</p> <p>（システムのコストの面でも二拠点に事務所があると、専用のネットワークを敷設するなど、どうしてもコストが爆増するように見えてしまいます・・・）</p> <p>2. 市職員と執行部との連携が大変になるのではないのでしょうか？</p>	<p>1. 全て（市長・議会など）を一か所に集約するこれまでの計画が、財政的にも効率的であり、無駄なものを最小限に抑えられると考えていました。ただし、これまでの計画では、本庁舎を移転するために必要な議会での3分の2以上の賛成を得るのが難しい現実がありました。</p> <p>そういう中において、そこだけに焦点を当てるのではなく、深沢と鎌倉の2拠点での両輪を生かして、災害に強いまちづくりを実現させていくために、今回の案を検討したところです。</p> <p>（今回の案でも）市民の皆さんには大きな不便がないと考えています。職員が別々の場所にいることによる移動のコストや通信での連携といった課題に対しては、余計なコストがかかり続けるということではなく、現在も、市役所全てが1か所に集約しているという状況ではなく、例えばスポーツ課や環境部の部署が外部にあり、それほど変わりがありません。市長、議会と多くの職員が、基本的に別な場所になるということになりますが、この間のコミュニケーションについては、昨今（今日のような）、オンライン（会議）も発達してきていることがあり、技術の活用で解決可能と考えており、行政コストが大幅に上昇するようなことはないと考えています。厳密な試算はありませんが、今回の2拠点という案によって大きく変わるものではないと考えています。</p> <p>2. 災害時には全ての通信機器が使えなくなる想定の中で、災害対応を行う必要があると考えています。いざ大きな災害があった時には、災害対策本部を1か所に設け、多くの関係職員が参集すること基本であり、情報を集約して迅速に意思決定することが、災害後に市が行うことです。通信とは別な話ではありますが、災害対応もずっと2拠点でやっているのではないことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>3. 反対の方のご意見は多くありましたが、一つは鎌倉市のシンボルとされているということは感じてきたところです。シンボルかどうかは、議論となるところですが、市役所が今の場所から全て無くなってしまおうという印象を持たれた方が多くいらっしゃいました。この誤解を解くという意味で改めて説</p>

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No. 質問	回答内容
<p>特に、災害時には通信機器などが使えなくなり、別れていると連携が途絶えてしまい、迅速な災害対応ができなくなるのではないのでしょうか。</p> <p>通常業務においても、行政のコストは上がるなど、いずれにしてもコストが上がるイメージしかないので、税金を納めている市民としては納得するのは難しそうです。</p> <p>3. そもそも移転反対される方の真意を行政・執行部側は認識されているのでしょうか。意見としては様々ですが、集約すると①鎌倉市のシンボル・象徴となるところだから。②市役所でしかできない手続きがあること。だと思います。</p> <p>以下は、私の所感満載なので、対応の参考にさせていただきたいです。</p> <p>①については、行政がいかにして説得できるかだと思っています。</p> <p>市役所よりも旧鎌倉には象徴的なものがいっぱいあるので、なぜ”市役所”がシンボルとなるのか不思議です。昭和44年までは今のところに市役所はなかったわけで、そこまで歴史深いものでもない認識です。</p> <p>②については、こちらは是非取り組んでいただくと反対されないと思います。</p>	<p>明しますと、現在の本庁舎がある場所には、これまでの計画でも今回の案でも市民サービスを提供する窓口や相談の場は残すこととしています。更には、中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を現在の本庁舎がある場所に集約し、複合施設として市民の皆さんがいつでも集まり、楽しみ、交流できる場所にしたいと考えて計画してきたところで、この複合施設こそが鎌倉の象徴になると考え、説明してきました。そうではないというご意見もありました。</p> <p>そのような中において、意思決定機関である市議会、それと市長、総務・企画という部署を今の場所に残しながら、鎌倉の中心としての役割を担っていくことは、鎌倉の歴史の文脈からしても必要なことだろうと判断して、今回のように計画変更を提案したところです。</p>
<p>4 総務省は位置条例可決なしに分散化が違法でないと言っているのか。</p> <p>財政面は大丈夫か。本庁舎に本部機能を置き、深沢庁舎に8割の職員を配置すると、新庁舎の170億円、御成庁舎の新施設に136億円という必要経費が同時にのしかかる。財政面は大丈夫なのか。</p>	<p>地方自治法上、本庁舎について明確な定義が示されていないため、鎌倉市の考え方（今回の案の考え方）を総務省に説明したところ、総務省から大阪府の裁判例が一つの判断基準となるという考え方が示されました。その裁判例を前提にした上で法律の趣旨から照らし合わせると、鎌倉市の考え方に「大きな違和感はない」というのが総務省の見解でした。</p> <p>金額面について、新庁舎の整備に約170億円、市庁舎現在地の利活用には約140億円かかる計画を示しています。これまで庁舎の整備にかかる費用について、基金を積み立ててきているほか、100年使っていくことを考えている新庁舎は、将来世代が使っていくことも考えて、市債（借金）を利用して財政計画を立てて進めていきます。続く鎌倉の本庁舎の整備費用についても、財政計画を作って返済していく形です。両方の整備費用を足し合わせても、財政的にはしっかりと負担に耐えられる計画です。</p> <p>市の市債残高（借金残高）は、以前は500億円を超えていましたが、現在は300億円を切るくらいまで減ってきており、神奈川県内では（借金返済の）負担が一番軽い数値です。</p>
<p>5 2拠点化した場合、村岡・深沢地区のまちづくり計画との関係はどのようになりますか？これまでの計画と変わらないのでしょうか？</p>	<p>深沢のまちづくりは基本的に変更はありません。</p> <p>深沢のまちづくりは、「ウェルネス」というテーマのもとに進行していきます。約30ヘクタールの事業用地のうち、3割弱を鎌倉市が保有しており、その保有する土地の中で、新庁舎と消防本部、総合体育館（アリーナ）、グラウンド、公園などの公共施設を整備する予定です。残りの土地は、主にJR東日本が所有（6割弱）していますが、この「ウェルネス」というテーマのもと、民間企業とも連携して、心身ともに健康になれるスポーツを切り口としたまちづくり</p>

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
		をしていくかたちです。その中で、新庁舎とスポーツ施設を核にしなが、多くの人が集まり、交流でき、地域が活気づく場所にしてい計画です。今後、民間企業と連携しながら、具体化していきます。
6	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>現在ある「深沢支所」を新しく建替えて、「深沢新庁舎」として生まれ変わる方法はどうでしょうか？</p> <p>あまりにも予算が膨大なので、増税が必須であると思います。</p>	<p>深沢支所を建て替える考えはなく、深沢地域整備事業用地に新庁舎を整備する計画です。（深沢支所のある深沢行政センター内の深沢図書館、深沢学習センターもその新庁舎と複合化する計画です。）深沢行政センターは支所等として利用しなくなることから、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、賃貸するか、売却するかもしくは既存建物を活用していくかなどを検討し、財政負担を減らすという観点も踏まえ今後検討していきます（敷地内の国有地は平成 27 年に取得済み）。</p> <p>なお、市庁舎現在地の利活用についても、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、財政負担を減らすことをそもそも考えており、老朽化している中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を、市庁舎現在地に移し、集約する計画です。これにより、今の中央図書館の土地の活用、鎌倉生涯学習センターの借地料の削減により、費用負担をしっかりと低減させ、財政的に破綻しないように、増税を行うことがないように進めていく考えです。</p> <p>今回の計画の変更によって、何か追加となって新たに財政負担が明らかに増えるということは予定していません。ここを基本としておさえていただければと思います。市庁舎現在地の利活用について、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、余剰となる一部を民間が活用することで、その収益で財政負担を少し抑えるということを検討していました。その民間に貸し付ける部分を、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、民間に貸すことができる面積が減少するという点が一つ財政的なデメリットですが、それ以外に多額な費用がかかることはないと考えているものです。</p>
7	<p>30 日に津波警報が出た際に、長谷地域の皆さんと避難場所にいたが、市役所本庁舎がいまの場所にあることがよい。</p> <p>災害の起きる場所に近い場所に本庁舎があるという安心感がある。深沢地域にいったら、津波被災地に遠くなる。御成に本庁舎がある意味は災害対応でも市民の精神的基盤になる。それへの意見をお聞きしたい。</p>	<p>災害対策本部が近い現在の場所にあるということが精神的基盤になっているということだとすると、遠い人が不安であるかは、感じ方の違いの部分があるように思います。しっかり機能している災害対策本部があり、そこには単に市長や部長などの会議を開催できるだけでなく、その指揮に応じて職員がしっかりと災害対応を含めて仕事ができる状況が確保されているという点が、本質的に一番大事なことだと考えています。その点をご理解いただきたいと考えています。</p>
8	<p>現市庁舎敷地内での建て替え、補強も可能ではないか、駐車場の地下化を含め再度検討すべきと思うがどうか。</p>	<p>【補強ができないのかという点】</p> <p>市庁舎現在地で災害対策本部機能を発揮し、大きな地震の後にも、職員が安全に災害対応を含めて仕事にあたるようにする基準を満たしていくには、現在の本庁舎に更なる補強ブレースを入れなければなりません。手狭な本庁舎に更にブレースを入れると、職員の働くスペースが更に減り、補強したとしても働くスペースが足りないの、別の場所に新しい庁舎を作らなければならないという考え方になります。</p> <p>【建替えができないかという点】</p> <p>鎌倉市がかけてきた風致地区条例による高さ制限（市庁舎現在地は 10m 以下）があります。制限を外せばよいというご意見もありますが、鎌倉駅周辺のまちづくりとして決めてきたことで、鎌倉駅前でも最大でも 15m までという高さ規制をかけています。もっと高い建物を建てたいという要求がある中、鎌倉のまちを景観面含めて、規制をかけてまちづくりとして守っていくためにこういうルールを作ってきた経過があり、市民や民間企業に厳しく制限をかけて、市役所だけは制限を免れて高い庁舎を建てるということについては、安易に進められる考え方ではないと考えています。更には、高い建物が建てられたとしても、地下にある埋蔵文化財の問題があります。本庁舎のある場所は、かなりの確率で大変貴重な文化財が埋まっていることが想定されています。隣の御成小学校の建替えの際に、奈良時代の鎌倉郡（本市と逗子市のほぼ全域と横浜市西部と藤沢市の南東部）の役所（郡衙（ぐんが））の跡や木簡等の大変貴重な文化財が発見されており、校舎の建替えのために杭を打ったりすると壊してしまうため、建設場所を見直し、杭を打たない低層の校舎とし、小学校を建替えた経過があります。このようなことを想定すると、現在の本庁舎の場所に、災害に強い、しっかりと杭打ちをした地震にも強い高さのある建物を、計画することは非常に難しいということで、本庁舎を移転するというこれまでの計画を作ったものです。</p>
9	<p>現市役所に集約予定だった生涯学習センター、図書館、交流施設等の活用について、本庁舎に議会等が残った際</p>	<p>十分なスペースが取れないということはありません。現在の本庁舎がある場所に、中央図書館、鎌倉生涯学習センター、市民交流のスペースを作ったとしても余るスペースがあることから、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、市庁舎現在地に行政機能と鎌倉生涯学習センター、中央図書館、</p>

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	には、そのスペース分がその分案分され、十分なスペースがとれないということになると懸念しますが、そのあたりの計画について伺いたいです。	市民交流スペースを複合化し、その余剰部分を民間に貸すことを示しています。その民間に貸す部分を減らし、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、公共施設として計画していた部分を減らそうとする案ではありません。
10	深沢側に議会等がなくなるということは、当初予定していた新庁舎よりも小さく設計されるのでしょうか。規模は変わらないでしょうか。	単純化して説明すると、現在基本設計を進めていた新庁舎の建物は5階建てで、その5階部分を議会とする計画のうち、この5階部分にある議会機能を新庁舎に配置しなくなるということが今回の案の大きな変更点です。現時点では、5階部分を全て無くし4階建てにするのか、5階部分を市民活用スペース等とするのかといった点については、結論を出していません。この点は、市民の皆さんに説明していく中で、ご意見を伺いながら最終的に方針を決めていきたいと考えています。
11	御成の本庁舎建替えは、2033年深沢新庁舎完成後になると思いますが、御成新庁舎の完成はいつ頃になる見込みでしょうか？ (まだ決まっていないとは思いますが、お答えできる範囲で)	市庁舎現在地の利活用による本庁舎整備の時期はまだ決まっています。今後、今回の案による計画が順調に進んでいけば、令和15年(2033年)3月前後に深沢の新庁舎が開庁した後、市庁舎現在地についても、そこから速やかに災害に強い場所として活用できるように、深沢の新庁舎と並行して検討していきたいと考えています。現在の本庁舎を建替えるのか、もしくは耐震補強して使い続けるのかについても、まだ決めていないため、深沢の新庁舎の計画と並行して検討を進めていきます。
12	御成庁舎に市長部局と議会部局を残すとして、中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を同じ建物に入れることが可能なのか。特にホールと議場を同じ建物に造るのは、面積面から無理があると思うがどうか。	ホールと議場を建物に入れることは面積的には可能だと考えています。 今後、様々な検討の余地あると考えており、仮に議場と市民の皆さんが使うホールの両方を作ることが過剰だという議論になった場合には、普段は、市民の皆さんや職員が使うホールとして使い、議会の時は、しっかりと整えて議場として議会を行う、というように、あらかじめ兼用できる議場をつくる事例も全国に様々なことから、そのように作っていくことは非常に効率的で良いのではないかと考えています。
13	反対意見の主要なものは歴史的な文脈という理解でいいのでしょうか	反対意見には様々なありました。例えば、市民の皆さんにもっと理解してもらいたいというご意見や深沢の場所が危ないというご意見がありました。また、鎌倉の中心を移すべきではない、深沢が中心になるのはおかしいという意見もありました。 様々なご意見がある中で今回の案ですべて対応できているとは思いますが、位置条例の改正案が否決されてから2年半で感じてきたところは、市役所本庁舎を移転することに賛成か反対かという議論になりがちであったことです。こういった意見ばかりではありませんが、鎌倉の中心を移すべきではないというようなこととか、深沢が中心になるのはおかしいのではないかなという意見もありました。鶴岡八幡宮が鎌倉のまちの中心、真ん中にあり、その鶴岡八幡宮を中心に三方山で囲まれて、一方が海であるということがこの鎌倉の歴史的な文脈であると考えています。その文脈に沿って、本庁舎の機能を鎌倉に残していくことが、一定の意義のある部分だと考え、本庁舎を鎌倉地域に残していくという今回の案に至っています。
14	12月議会に計画変更の議案を出すとのことですので、松尾市長は10月の市長選挙に出るお考えですか。	今回の説明において、「私が」という主語が「松尾崇が」と聞こえてしまう部分もあるかもしれませんが、市の計画を、市の代表として説明させていただいています。この計画は10月の市長選挙の結果によって、考え方が変更になる可能性はあると思いますが、この市の考え方を踏襲していく方が市長になれば、この流れに沿って進めていくということをご理解いただければと思っています。
15	移転可否の質問です。鎌倉側に住んでいる方の反対意見がフォーカスされがちですが、深沢側に住む方の意見は蔑ろになっていないでしょうか？	深沢に住む方の意見というのが、どういう意見かということもあろうかと思っています。本庁舎を深沢に置くべきというご意見だとすると、今回それは実現できないということになるため、私の立場からはお詫びを申し上げます。ただ、今回本庁舎を移転するという事は手段でしかなく、それをやりたいわけではないというのが私の考えでもあり、市が進めてきた考え方でもあります。繰り返しになりますが、あくまでも大きな地震があった時に、市民の皆さんのために市の職員が継続して災害対応を含めて仕事ができる環境を作らなければならない、これが大前提としてあります。この点については、どの地域にお住まい方にもご理解いただけるのではないかなと思っています。 東日本大震災があった当時、10年前には議会でも大きな議論になりました。今の市役所のままで本当にいいのか、市役所としてどうするのか、という問いをたくさん突きつけられたところです。市としては、そうしてスタートラインに立ち、災害に強い新庁舎を作っていく中で、この鎌倉市全体が災害に強いまちにしていくことを目指しながら、この計画を進めてきたということをご理解いただければと思っています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
16	新庁舎に予定されていた、余剰スペースの民間活用について、どんな内容を想定していたのかを知りたいです。	<p>深沢の新庁舎ではなく、現在地利活用において余剰スペースを民間活用する計画をしていました。余剰スペースの民間活用については、民間からの提案を自由に受けていくことを前提として考えていたところです。考えられるのは、この場所が鎌倉の中心に、市民の皆さんがたくさん集まってくる、そういう魅力的な場所になっていくことを目指していたことから、例えばレストランやカフェ、もしくは図書館や学習センターに関連性のある民間のコワーキングスペース、ちょっとした宿泊所などもあるかと思いますが、まだ決めているということではありません。</p> <p>鎌倉地域のこの場所の魅力を高めていくというものは必須だと考えておりますので、決して高いお金を払った企業などが入るという考え方で選定していくというものでは決してありませんことをご理解いただければと思います。</p>
17	なぜ見直さざるを得ないことになったのか、市長としての率直な思いを聞きたいです	<p>鎌倉市議会令和7年（2025年）6月定例会前に、各議員にこれまでの計画への理解を求める働きかけを行いました。結果的に位置条例の改正に必要な数の賛同は得られない状況でした。こういった状況を踏まえ、市議会6月定例会への位置条例の改正議案の提案を見送るとともに、この事業の一番の目的である「市民の安全安心を守るため、大規模災害時にも業務継続ができる安全な庁舎整備を早期に実現する」ということを最優先し、今回の案を考えたものです。</p>

※当日いただいた質問（時間内に扱えなかったものを含む）に対して、改めて回答を整理したものです。

※投稿された質問は原文のまま掲載しています。

※位置条例：鎌倉市役所の位置を定める条例

【令和7年（2025年）8月17日（きらら深沢）開催分】…順次追加予定

【令和7年（2025年）8月21日（オンライン）開催分】…順次追加予定

【令和7年（2025年）8月23日（鎌倉商工会議所）開催分】…順次追加予定